

### 1998年11月6日(金) 流通サービス新聞 総合物流 物流コンペ代行に進出 / 荷主に最適システム提案

日本ロジファクトリー(大阪市中央区南船場2の11の18、青木正一社長、06・6245・3368)は荷主企業と物流事業者の間に立つて最適物流企業の選定やコーディネートを行う「物流コンペティション業務代行サービス」を始めた。

コンペに向けた公募資料の作成から荷主側および物流企業側施設の視察・診断、見積もりフォーマットの作成、窓口業務などコンペ関連の作業を必要に応じて引き受けるほか、コンペによる新物流システム構築を一括して受注する。費用は5万円から。

#### 公募資料作成など幅広く物流改革を手助け

日本ロジファクトリーは物流コンサル主体のサードパーティーロジスティクス(3PL)業者。コンサル活動に伴って500社を超える倉庫やトラック業者をネットワーク化し、荷主、物流企業双方にメリットのある物流システムのプランニング、物流センター開発事業なども進めている。

今回のサービスではこうした活動をより客観的な視点から行うため、自社ネットワークの業者も独自に格付けし、荷主に最適な物流システムづくりを支援していくことを考えている。

メーカーや卸、小売業などの荷主には市場の変化に対応して複数ある取扱業者を集約したい、サービスの品質を上げたい、提案力のある物流企業と取引したい、といった物流改革の要望がますます強まっている。これを米国流のコンペで実現する考え方も出てきているが、従来の物流企業との関係や担当部署がなく業界環境に暗いなどの事情から、思い切った業者選定がやりにくいのが実情。

今回のサービスでは1.定性的、定量的公募要件資料の作成 2.流通センターや倉庫の同行視察、選考アドバイス 3.見積もりフォーマット作成 4.物流会社ネットの構築 - などの項目から同社への依頼事項を選んでもらい、1.5 - 4ヶ月をかけて作業を行う。